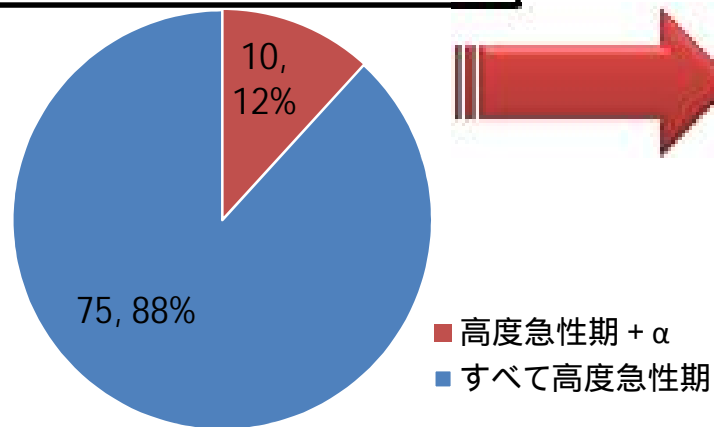


特定機能病院における病床機能別の病床数等の比較

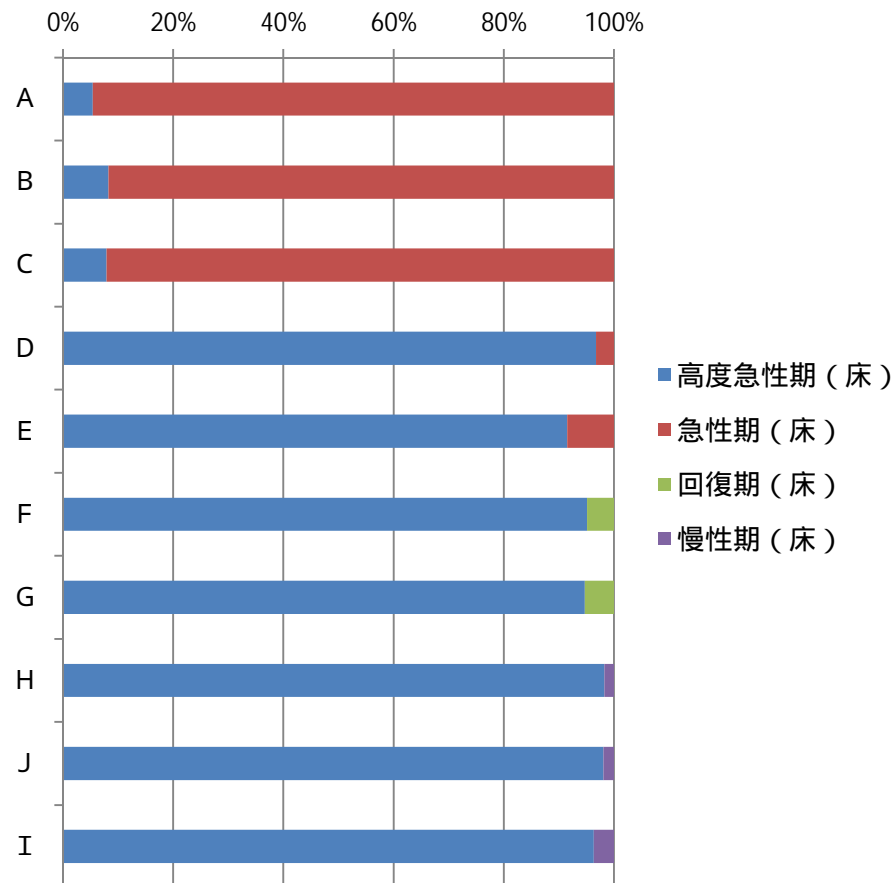
特定機能病院等の病床数等の構成比を表したもの。

特定機能病院(85病院())では、報告時点の85病院中75病院が、全ての病棟を高度急性期機能と報告。北海道大学病院については、報告内容に不備があったため今回の集計からは除外病床数でみると、全病床数の約96%が高度急性期機能の病床と報告。

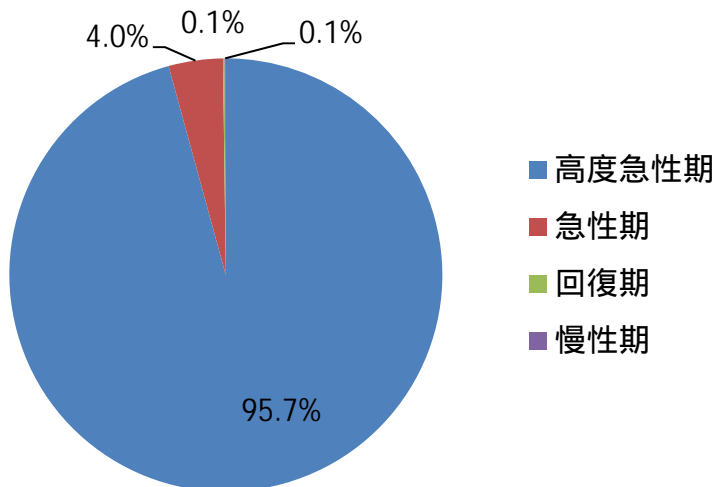
各特定機能病院の報告状況(病院別)



高度急性期以外の病床を有する医療機関の病床数の内訳



各特定機能病院の報告状況(病床別)



400床以上の病院における病床機能報告制度の状況

特定機能病院と、病床数が400床以上の病院のそれぞれの4機能別の病床数を比較。
特定機能病院では、病床数で見ると、約96%が高度急性期機能と報告。
一方、特定機能病院以外の400床以上の病院においては、
高度急性期 41%、急性期 45%、回復期 2%、慢性期 11%であった。

